



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立太平中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

貸し出し用個人カードの配布

本校では毎年読書週間に合わせて貸出数の多い生徒を表彰し、貸し出し用の個人カードを配布してきましたが、今年度も同様に配布しました。昨年度のカードは青でしたが今回のカードは「透明」としました。イベントごとに変えることで、委員も「使ってもらえて嬉しい」ものになりました。



ブックフェアの開催

書店様のご協力をいただきブックフェアを開催することができました。委員が入場生徒に付箋を配布し、購入希望の本に付けるだけとしましたが約80冊に付箋が集まり、後日検討の上購入し、蔵書としています。上記により貸出数は前年比3倍で推移中です。



学習センターとしての機能

学習テーマごと校内に図書を別置(通年)

総合的な学習や諸行事だけでなく、日々の授業内容についても、蔵書が複数あるテーマであれば該当する学年の教室前廊下等に図書を別置し、いつでも手に取ってもらい図書利用へのハードルが低くなるよう心がけています。また各学級の学級文庫は月に一度ほど図書委員が交換をしています。



その他

4月：部活動・スポーツ
学校祭前：工作・展示本
ノーベル賞・季節の食材
国語の古典関連など適宜に

職業体験向け↑
日常の保健室・校長室前廊下



情報センターとしての機能

生徒出版作品の展示

本校特別支援学級1年の生徒が、自分のことを扱った絵本を、自ら絵を担当し出版に至りました。さらに文を担当された絵本作家さんからその他の著作(LGBTQ・難病についてなど)も提供をいただき、参考図書と一緒に展示することができました。



寄贈された「北海道遺産」パネルの利用



今年度寄贈されたパネルは写真を添付した上で関連図書と一緒に紹介しています。図書は地理・建築・歴史等から交換しながら展示しています。